

## 28堀小 〔算数少人数〕専科経営プラン

### ◆専科目標

「わかる楽しさ、できる喜びを味わい、さらに学習を進めたいくなるようにする。」  
○算数の基礎基本を着実に身につけることができるようにする。  
○新しい問題を、既習事項を使って自力解決できるようにする。  
○友達の考えを聞いて、その良さを認め、自分の考えに生かせるようにする。  
○次の課題を見つけ、取り組もうとする意欲をもたせる。

### ◆専科経営（学校経営計画を受けて専科として重点にしていこう）

#### 〔方針〕

- ・担任と連携を図り、学期や単元を通した指導計画を立て、教材研究をし、指導の工夫をする。
- ・少人数指導の良さを活かし、学年の実態に合わせて効果的な習熟度別指導や個別指導を行い、一人一人の児童の学力向上を目指す。

#### 〔重点的な取組〕

- ・算数の基礎基本の着実な定着を図る。
- ・問題解決型の授業展開を心がけ、見通しを持って問題を解決する活動を繰り返し行うことを通して、自力解決する力を養い、自力解決や友達と学び合うことの楽しさを味わわせる。
- ・ノート指導を重点的に行い、児童の学びの様子を把握し、指導助言を行い、次時の活動につなげていく。

### ◆専科経営（特に大事にすること、配慮すること）

- ・「分からないことも毎日少しずつ学習していけば分かるようになる」という経験を、一人でも多くの児童に、数多く積ませることができるよう、朝や休み時間、放課後の時間を使って、児童の学ぶ意欲に応じた指導ができるようにする。
- ・前時に学んだことを次時につなげ、点の指導が線となっていくような授業を積み重ねる。
- ・学校全体で算数ノートの使い方を共通理解し、ノート指導を徹底して行う。
- ・ノートの書き方を工夫し、式と図と言葉を使って、自分の考えを分かりやすく書けるようにしたり、友達の考えを記録したり、学習の様子が分かるノートが書けるようにする。
- ・担任との連携を大事にし、単元ごとはもちろんのこと、適宜打ち合わせを行い、より良く一貫した指導が行えるようにする。若手教員には毎日の授業の振り返りをさせることを通して、指導の充実を図り、児童の考えの理解のしかたなどについて指導を行う。
- ・学年の実態に応じたグループ編制を行い、より効果的な指導が行えるようにする。
- ・専科の先生方との連携を通して多くの情報を得ることで、児童一人一人の良いところを認め、伸ばしていくことができるようにする。専科の先生方の思いや考えを担任に伝えていく。
- ・授業に活用できるような、児童が自ら振り返ることができるような各学年の掲示物を作成するなど、教室環境整備をする。